


赤韋威鎧 兜、大袖付



指定区分	国指定重要文化財(工芸品) 国宝
読みかた	あかかわおどしよろい かぶと おおそでつき
所在地	岡山市北区後樂園 岡山県立博物館
指定年月日	平成11年6月7日
解説	胴高約40cm(前)、約44cm(後)、草摺高約27.0cm、兜鉢高約13.3cm。平安時代後期の特色が強く、豪壮な趣を有する極めて貴重な甲冑。なお、兜は鎌倉時代の様式。鎧が伝わった赤木家はもと信濃国の豪族で、承久の乱(1221年)の功によって新補地頭として備中国に移った。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩約25分／路面電車「城下」下車徒歩約10分／岡電バス「後樂園前」下車すぐ
公開状況	岡山県立博物館保管
設備	<p>駐車場は岡山後樂園駐車場を利用。</p> 
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(工芸品) 国宝
ぶんかざいめい (文化財名)	赤韋威鎧 兜、大袖付
よみかた	あかかわおどしよろい かぶと おおそで つき
しょざいち (所在地)	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
していつひ (指定した日)	平成11年6月7日
せつめい	このよろいは、平安時代(へいあんじだい)のおわりごろに武士(ぶし)が戦(いくさ)で着用(ちやくよう)したよろいです。すばらしい技術(ぎじゆつ)が集(あつ)まってつくられたこのよろいは、保存状態(ほぞんじょうたい)もよく、日本の中でもとても貴重(きちよう)なものです。